

30年10月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成30年 10月1日～ 30年10月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/10月	11月	12月
入荷動向	国産材製材品	△ 8.3	8.3	△ 8.3
	外材製材品	0.0	10.0	△ 10.0
	その他	—	—	—
販売動向	国産材製材品	16.7	0.0	0.0
	外材製材品	20.0	0.0	△ 10.0
	その他	—	—	—
在庫動向	国産材製材品	8.3	0.0	0.0
	外材製材品	10.0	0.0	0.0
	その他	—	—	—

・国産材製材品の入荷動向は10月の減少から11月は増加、12月は再び減少に。外材製材品は10月の横ばいから11月は増加、12月は減少に。

・国産材製材品の販売動向は10月の増加から11月、12月は横ばいに。外材製材品は10月の増加から11月は横ばい、12月は減少に。

・国産材及び外材製材品の在庫動向は10月の増加から11月、12月は横ばいに。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		30/10月	11月	12月
スギ	柱角 KD10.5×3	8.3	16.7	8.3
	柱角 KD12×3	8.3	0.0	0.0
	通し柱 12×6	10.0	0.0	0.0
	桁角	8.3	0.0	0.0
	母屋角	16.7	8.3	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	8.3	8.3	8.3
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	8.3
	平割	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	16.7	16.7	8.3
	柱角 KD12×3	8.3	8.3	8.3
	土台角 10.5×4	16.7	16.7	8.3
	土台角 12×4	8.3	0.0	0.0
	通し柱 12×6	10.0	10.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	△ 12.5	0.0	0.0	
米マツ割物	△ 16.7	0.0	16.7	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	37.5	25.0	12.5	

・スギは柱角10.5×3、母屋角及び間柱がやや強含み。その他の品目は保合。

・ヒノキは総じて強含み。

・カラマツ土台角10.5×4は横ばい。

・米マツ平角、割物とも弱含み。
・北洋エゾマツタルキ横ばい、北洋アカマツタルキは強含み。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・米ツガ入荷少ない。アカマツ30×40 3mがない。WW間柱系がほとんどない。販売動向は、10月は記念市があった影響で多少良い。在庫は国産材、外材とも変わらず（関東）。
- ・丸太は不足、製材品の価格転嫁は進んでいない（中部）。
- ・小径木の原木が少なく集荷しにくい状況（近畿）。
- ・11月に特別市があるので入荷は増えている（九州）。

(価格動向)

- ・スギ柱角（KD10.5cm）63,000円/m³、（KD12.0cm）63,000円/m³、スギ桁角（東北材グリーンラフ）42,000円/m³、母屋角（東北材二等）30,000円/m³、スギタルキ（東北材）45,000円/m³、スギ間柱（KD）63,000円/m³、スギ加工板（東北グリーン材）束2,800円、（KD）束4,800円、スギヌキ（東北材）43,000円/m³、秋田材52,000円/m³ スギ平割（プレーナー）45,000円/m³、同（ラフ）43,000円/m³、
- ・ヒノキ柱角（KD）土台角10.5cm、12.5cm 85,000円/m³、米マツ平角（KD）70,000円/m³、米マツ割物AD 75,000円/m³、北洋アカマツタルキ（アSEMBル単価）（S）73,000円/m³、（P）63,000円/m³、（バンドル単価）（S）70,000円/m³、（P）60,000円/m³（関東）。
- ・北洋アカマツタルキ及びWW間柱は為替の影響で強含み（近畿）。
- ・原木価格上昇のため乾燥材角物の単価が上がっている（九州）。